

大切な人の〈からだ〉のこと、 どこまで知っていますか？

妊娠・出産の話や、環境問題、労務問題など、社会には通常の授業では学びきれない課題がたくさんあります。

本セミナーでは、社会人になる前に知っておいた方が良く、
考えておいた方が良く、学ぶことが出来ます。



日時：2017年 10月4日(水)
13:30~15:00(申込不要)

場所：南山大学 EB1教室

対象：南山大学に所属する大学生・大学院生

講師：早川徳香氏 (南山大学保健センター)

企画・コーディネータ：森山花鈴 (南山大学社会倫理研究所)

筆橋一輝 (南山大学社会倫理研究所)

講師紹介：早川徳香 (はやかわ・のりか)

経歴：南山大学人文学部心理人間学科准教授。南山大学保健センターでは、副センター長として学生の〈こころ〉と〈からだ〉に関する相談にのっている。

専門：精神医学、摂食障害

2017年度第5回目の今回のテーマは、「大切な人の〈からだ〉のこと、どこまで知っていますか？」です。

皆さんは、自分や友だちの〈からだ〉のことについて考えたり話したりしたことがありますか？また、友だちや家族の〈からだ〉は気遣うのに、自分の〈からだ〉だけいい加減に扱ったりしていませんか？

今回のトークセミナーでは、大切な人のことを考えたとき、「やせすぎ・太りすぎはどうして〈からだ〉に悪いの？」「年を経て私たちの〈からだ〉はどう変化していくの？」といった〈からだ〉そのものに関する疑問から、「生理に関する話をみんなとするはタブーなの？」「もし避妊に失敗したらどうしたらいい？」といった性と〈からだ〉に関する疑問など、普段はなかなか聞けない話題を南山大学保健センターの早川先生に伺います。